



ごとうはな  
後藤華さん(35歳)  
(株)めぐりブランドマネージャー、  
ダンスインストラクター  
今年の抱負：「躍」

私は、ジェラート屋を運営する「めぐり」のブランドマネージャー、ダンススクール「スタジオローカヒ」でのインストラクター、3児の母という3足のわらじを履いています。

バックダンサーを経験した後、地元に貢献したいという気持ちが強く、現在はダンススタジオと市内の牧場でとれた牛乳を使用したジェラート屋で働いています。

昨年は石田小学校にダンスを教えに行く機会がありました。子どもたちにエネルギーをもらうとともに、自分の活動が地元に貢献できたことがとても嬉しかったため、今年はもっと多くの小学校で活動したいです。めぐりでは伊勢原産の牛乳をもっと売り出すことで地域をブランディングし、市に



活気をもたらしたいと思います。

今年の一足は「躍」です。躍動感を持って挑戦し続け、飛躍の年にしたいという気持ちを込めてこの言葉を選びました。

3足のわらじで大変だと言われることもありますが、私にとってはちょうど良いバランスです。私の生き方が息子たちに影響を与えると思うので、常に挑戦している背中を見せていただきたいです。



ながくらひるやす  
長倉博保さん(59歳)  
(有)長倉塗装工業、  
伊勢原市商工会工業会会長  
今年の抱負：「繫」

父が始めた塗装業を継ぎ、建物の塗り替え塗装を行っています。また、8年ほど前から市商工会の中の工業会の会長になりました。

工業会は、工業に関する市内の小規模事業者が所属している組織です。同じ市内で事業を営んでいる者同士で、仕事をする上で困ったことなどを気軽に相談することができ、お互いに助け合い、励まし合える仲間です。情報交換や地域活動を通して多くの人と関わることで、仕事を向き合う姿勢や、コミュニケーションを盛り上げていきたいです。

ケーションなど、自分の会社だけでは学べない体験ができたと思います。

今年の抱負は「繫」です。工業会は今年で50周年を迎えます。工業会の会長として、先輩方が築いてきたことを未来へつないでいきたいと思っています。そのためにも、適切な言葉でコミュニケーションを重視して、人と人との「繫がり」を大事にしていきたいと思います。今年も工業会のメンバーで各々の事業を発展させるとともに、伊勢原市を盛り上げていきたいです。



うめつりく  
梅津吏玖さん(11歳)  
高部屋小学校5年生  
(神奈中テニススクール)  
今年の抱負：「必」

個人スポーツがやりたくて、5歳からテニスを始めました。テニスのスタイルは攻撃型で、中でもバックストロークが得意です。

去年は、12歳以下の4つの大会で優勝することができました。14歳以下の大会でも、自分のプレーができるベスト4になりました。14歳以下の大会は中学生も出るのでレベルが高いでですが、どう戦うかを考えてプレーをして勝てたことがうれしかったです。

今年の抱負は「必」です。必ず勝つ、必ず全国に行くという気持ちでこの言葉を選びました。目標は、12歳以下の全国大会出場です。県と関東でベスト8になると出場できますが、去年は県でベスト9でした。サーブの強化と足腰を鍛えてレベルアップし、全国大会に出場できるよう頑張ります。

将来は

プロのテニス選手になるため、これからもたくさん練習して強くなりたいです。



ながいもとだ  
永井元惟さん(23歳)  
國學院大學神道学専攻科  
今年の抱負：「誠」

神職に就くため、昨年の4月から國學院大學に通っています。

三之宮比々多神社の宮司の息子として生まれ、大学卒業後の進路を考えた時に、お世話になった両親や地域のために活躍できることがしたいと思い、神職を志しました。通常4年間で学ぶことを1年間で学ぶ課程のため、短期間にたくさん勉強をしなければなりません。授業がない日も、いろいろな

神社に奉仕し、神社の在り方などを学ぶために助勤をしているため、昨年は勉強漬けの1年でした。

4月からは、多面的に多くのことを学びたいとの思いから、都内の大きな神社に奉職し、神職としての一步を踏み出します。眞誠に奉仕して、人としても神職としても成長したいと思っています。

今年の抱負は「誠」です。誠心誠意神社に奉仕していきたい、世のため人のために活躍していきたいという気持ちや、家族や友人など大切な人に対して改めて「誠」の心を持って向き合いたいと思いこの言葉を選びました。

将来は生まれ育った伊勢原に戻り、地元のために活動したいと思っています。そのために、さまざまなことを学んで吸収し、少しでも役に立つ存在になれるよう成長したいです。



こまばひろたか  
駒場大峰さん(47歳)  
東海大学医学部腎内内分泌代謝内  
科学領域 領域主任・教授  
今年の抱負：「伸」

父が医師で、幼い頃から私も人の役に立つ事がしたいと思い医師を志しました。

外来の診察や、入院患者のカンファレンスを行う「臨床」、より良い治療法の確立のために行う「研究」、医学生や研修生へ講義や実習の指導などを行う「教育」の3つを中心に行っています。やることが多く忙しい仕事ですが、関わる人の数が多く、学会を通じて他の大学の先生と交流する中で、目標となる人や助け合える人と出会えたことなど、大学病院だからできる仕事に魅力を感じています。

私は、令和6年4月から教授に着

任し、診療科ごとに組織されている医局の運営をしています。数十人いる医局員が働きやすい環境づくりや、若手の教育に力を入れています。今年の抱負は「伸」です。私の医局は若手が多いので、伸びしろがあると思っています。彼らの成長の手助けをするとともに、自分も成長していきたいという気持ちでこの言葉を選びました。東海大学医学部も新1号館の工事が始まり新しくなっていく中、みんなで成長していくような組織にしていきたいです。



はなだゆうき  
花田結紀さん(23歳)  
伊勢原市消防本部 消防士  
今年の抱負：「結」



中学校の部活の時に、救急車で運ばれたことがあり、その時に助けてくれた救急隊員が格好良く、消防士を目指しました。

昨年4月に消防に入職後、すぐに消防学校の寮で生活し、半年間の初任教育を受けました。そこでは、勉学で優れた成績者に授与される優秀賞と、体力測定で優れた成績者に授与される体力賞をもらうことができました。なりたかった消防士としての第一歩がこのよう形で実を結んで嬉しかったです。

学校を卒業した10月からは消防署本署勤務となり、各部隊の指揮をとる指揮隊や、傷病者への応急処置や医療機関への搬送をする救急隊として活動をしています。初めは緊張や経験の浅さから何をして良いか分からなくなってしまいましたが、徐々に流れや動きが分かるようになってきました。

今年の抱負は「結」です。まだ消

防士として未熟ですが、経験や知識が実を結び、一人前になれるよう頑張りたいと思います。また、部隊での絆を深めてチームワークを大切にしていきたいと思い、この「結」を今年の抱負にしました。将来は救助隊員になりたいです。救助隊は、高度な技術や判断力、体力が必要な組織で、重度で危険性の高い救助を専門としています。全国的にも女性の救助隊員は少なく、本市では前例がありませんが、一歩ずつ実を結ばせて夢を叶えたいと思います。



ひろたみきとし  
比々多樹俊さん(11歳)  
比々多小学校6年生  
(比々多ジュニアバーレーボールクラブ)  
今年の抱負：「勝」

お兄ちゃんの影響を受け、3年生からバーレーボールを始めました。秋に行われた僕たちにとって最後の公式戦では、1年間の練習の成果をしっかり出すことができました。チームの目標だった地区大会・県大会の優勝、関東大会出場を達成し、関東大会では16チーム中7位という結果でしたが、最後まで諦めずに頑張りました。大会は緊張しましたが、みんなが練習通りに実力を



## 新春特集

### 年男・年女ヘインタビュー

今年は午年です。午年は「物事が大きく伸びる」、「勢いがつく」と言われています。力強く駆ける馬のように挑戦をするにはぴったりの年です。

今年、年男・年女の節目を迎えた皆さんに新年の抱負などを伺いました。

抱広報戦略課番94-4864